

【講義原稿】第1回 オンラインツールを使ってみよう

講師：東 信史氏（有限責任事業組合まちとしごと総合研究所 代表組合員）

東氏 「会場の皆さんもオンラインの皆さんのこんばんは。こっち見てもらっても良いですし、こっち見てもらっても結構です。今日はですね2時間お時間いただいております。Zoomの使い方についてご説明を少ししていきたいなという風に思っております。開催の趣旨自体いまお話しいたしましたが、まずは皆さんここに来ていただいたことですね、オンライン使ってみようっていう気持ちになっていただいているかなと思いますので、まずは使えるようになることと、あとは、どんなことができるのかなというところを知っていただいたりとか。ご自身が今回オンラインを使ってこんなことをやりたいんだなって思っちゃることは、ちょっとぜひ口に出していただきつつ、じゃあそれはどうやったらできるのかっていうのは一緒に考えていければというふうに思っております。ので、今日途中ですね、一方的にお伝えするっていう形ではなく、皆さん同士もお話をいただく時間を作らせていただきながらですね、たとえば、生け花教室やってるんですけど、どうやってオンラインでやったらいいですかね、みたいなことを吐き出していただいたりとか、お茶のたて方を教えてるんですけどどうやったらいいのかと。または、グループで活動してるんですけど、なかなかミーティングができなくて、今後教室の運営どうしようと考えているみたいなことでも結構です。ぜひ皆さん同士でお話いただく時間にですね、そういうこと一言二言、言っていただきつつ、一旦全体で2時間を過ごして行こうと思ってるんですが、早く終われば個別のご相談の時間の、割り当てていきたいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。スズキさんありがとうございます。聞き取りにくいということも書いていただいているので、できるだけ近くで話していきたいなというふうに思いますがよろしいでしょうか。もし難しい場合、オンラインの方、チャットにコメントいただきながらサポートできればなというふうに思っております。大丈夫ですかね。じゃあ画面を今から会場もオンラインの方々も含めて、1つの画面で共有していきたいなというふうに思いますんで、ちょっと画面が切り替わります。今回、4回の講座の1回目をご担当させていただいておりますが、『オンラインツールを使ってみよう』というのが1回目になっております。オンラインで講座であったりとか

イベントをやる時に、エチケットという形でご案内してるものを皆さんとも共有できればなというふうに思っております。1つがお名前を変更。こうしていただいております、オンラインでご参加の皆さまも、変更ができる方はこちらお願いできればと思っておりますが、呼ばれたいお名前とご所属に変更できる方はお願いいたします。これは、何かというと、今日もこの会場に来ていただいている方いらっしゃるんですが、名札を普段使ってらっしゃるような教室とかイベントとか講座をやっていらっしゃる方は名前が表示される部分がないようになっております。Zoomの場合はこの画面のところに名前が、ちょっと会場の方はすごい小さく見えていて申し訳ないんですけども、表示がされるようになっておりますので、これは名札代わりによく使っております。オンラインの方もお聞きいただきつつなんですが、ご自身の顔が映ってるこの画面の前にカーソル、矢印を持ってきていただくと、画面の右上に青い、ぼちっという文字が出てきますので、こちらをクリックいただいたら、何個か項目が選べるようになっております。ちょっと大きな図で見ていくとですね、名前の変更という形で、画面の右上に青のタブでチェックボタンが出てきますので、そこをクリックいただくと名前の変更というのが選べるようになっております。そこをクリックいただいて、今日はお名前ですね、ご本名でも結構ですし、何かニックネームを付けていただいても構いません。所属は、皆さんが普段やってらっしゃる活動のキーワードだけでも結構なので、変えていただいて、何を、今日はやってらっしゃる方々が参加されてるのかなというところを変更をお願いできればなというふうに思っております。続けてお伝えをしていくと、このZoomっていう機能自体は、1人の方がお話しするには適してるんですが、同時に同じ人が話していくっていうことが難しいツールになっております。なので、たとえば講演会をやられる場合であったりとか、あと講師の先生だけがお話をしたいという時には、他の方にミュートっていう形で、音声が出ない、話ができない状態にしてもらうことによって、1人の声が聞こえやすくなるので、そのお願いをしております。今日は皆さんにすでにミュートにさせていただいているので、私の声だけが今聞こえてるという状態になっています。3つ目のところは、皆さんが主催されるものによりますが、今皆さんの画面自体はこういった形で、お名前だけで映っております。会場の皆さん見ていただくとこういう形ですが、これでいくと皆さんの反応が分からないので、分かっていらっしゃるかな、どうかなと。会場

の皆さんはなんとなく分かるんですが、オンラインの皆さんが分からないので、こういう時はできるだけ顔を出して、今日はどっちでも大丈夫ですが、顔を出していただくことで反応が分かったりとかしますし、ジェスチャーみたいなもので大丈夫ですとか分かりませんということをしていただただけで、だいぶやり取りがうまくできるようになってくるので、ぜひその辺は活用していただければなと思っております。会場の皆さんに見ていただくとチャット、オンラインの方々を見ていただければと思いますが、こういったチャットっていう形で文字を入力することによってコミュニケーションが取れるようなものもあります。文字、見づらいですよ。小さくてちょっと見づらいかもしれませんが、こういった形で困っている時にやり取りしていただくっていうこともできるようになっておりますので、よろしければここで、入力できる方は、ここでご質問いただいたりとか、ちょっと分からないことがあればお書きいただければなというふうに思っております。大事なところはですね、この最後の4番目、5番目なんですけれども、進めていく上で慣れてくればスピード早く話していただいても結構ですし、どんどん進めていただいても結構なんですけど、使う方がまだ慣れていない方が多い場合などは、焦らずゆっくりと、相手がどんなこと話してらっしゃるのかなと声を聞いたりとか、自分自身も今ドキドキしているとか、ちょっと使い方がまだ慣れていなくて分からないという時は、最初にこう伝えていただくことによって、お互いに安心感を持って話がスタートできるかなと思っておりますので、それを伝えていただくことも結構大事なというふうに思っております。今日はお互いの目的の達成のために貢献し合いましょうって書いておりますが、皆さんが分からないなと思った点であったりとか、こういう時どうするのかなっていうのはぜひ出していただくと、今日、お申込み自体は100人、90人くらいですかね。90人くらい近い方がいらっしゃって、大体1人の方が分からないなと思ったことは他の方も分からなかったりします。なので、ぜひご質問として出していただくことで他の方の学びにもなるので、疑問とか質問があれば、質問の時間であったり、チャットで書きこんでいただければなというふうに思っております。こんな形で、まずは参加いただく方に安心して参加いただけるような、私たちはエチケットっていうふうに呼んでおりますが、共有いただくことで進めやすくなるというのがあるかなというふうに思います。今日、事務局の方にお伝えしておりますが、この資料自体は一応共有させていただく、皆さん

にお送りすることはできるものとしてご準備しているのですが、後ほど資料見ただけでも結構ですし、今画面を何かスマホで撮ったりとかしていただくのも全然OK ですので、気軽に、何か気になるところはチェックしていただければというふうに思います。じゃあ、簡単に自己紹介だけさせていただくと、普段 Zoom の講師をしている、このオンラインの講師をしているわけではなく、普段はまちづくりのお手伝いをさせていただき仕事をしております。地域の中で問題が起こったりとか、社会、広い意味ですが、何かトラブルが起こったりとか、困ったことが起こった時に、自分たちで物事を解決していくための仕組みっていうのをお手伝いしているんですけども、今なんでこういうものをやっているかという点と皆さんと同じように、地域でいけば自治会、町内会もそうですし、少しく、大学とか企業とかいろんなところがコロナ禍において、集まって話すということができなくなっていきました。私たちのお仕事としては人が集って話していくことで、お互いの理解であったりとか、お互いの力を借り合いながら活動していくものを支援していたので、話し合いがやはりできない、止まってしまうっていうこと自体は避けていきたいなということがあって、オンラインのこのツールを使って何ができるかっていうのを 3 月以降、いろいろと試してきたっていうのが私たちがやってきたことです。すごい簡単なものをいくと朝会したり、ランチ会したり、夜の飲み会したりとかですね、勉強会をしたり、あとトークイベントみたいなものをしたりっていうのをやってきたりしました。長いものでいくと 24 時間ぐらい使ってみるとだいぶ慣れてくるんじゃないかっていうので、24 時間イベントをゴールデンウィークに企画させていただいて、トークイベントみたいなものをメインにお手伝いさせていただいたりしてきて、多くの方々がまずはオンラインに慣れてもらうみたいな環境づくりをやっていくっていうのを、ずっとやってきました。3 月から 10 月の間に、毎週なのか週何回かなのかはちょっと覚えてませんが、かなり活動してきたので、ある程度いろんなノウハウを提供できるようになってきたというので、ここ 5 カ月ぐらいはオンラインのイベント、今日皆さんにお伝えすることもそうなんですけど、これを使ってどういうことができるかなという点のレクチャーみたいなものもさせていただいたり、あとは個別でご相談に乗ったりしてきました。ので、それをもとに今日お話しさせていただきながら、何か個別、分からないことがあれば、また随時お伝えをしていければなというふうに思っておりますし、皆さん

自身が、一人一人が使えていけるようになることで、より面白いというのと難しいんですが、いろんな体験が世の中に増えていけるんじゃないかなというふうに思っていますので、ぜひいろいろと覚えていただいたりとか、質問いただいて、お答えしていければなと思っています。最近、文化芸術っていう分野でいくと、友人が旅行会社の運営をしてるんですけども、そちらで文化芸術をお持ちの方、やってらっしゃる方々の体験を修学旅行生、中学生とか高校生向けにやっていくための仕組みを作ってもらってるんですが、そういうお手伝いをしていて、京都には来れないんですけど、京都のいろんな伝統産業とか文化を学校にしながら学べるみたいな仕組みも出来上がってきているので、ぜひこういうことも含めて、やりたいなっていう方は、どんどん、やりたいなという声を出しながら進めていければなというふうに思っております。進めていくと、今日のテーマ、『オンラインツールを使ってみよう』ということで、今日皆さんがご参加いただいている Zoom っていうツールを使いながら今日は進めていきたいなというふうに思っております。ここまで大丈夫ですかね。何かご質問があったらまたいただこうと思っております。ちょっとついてこれなくなったなっていう方は、後ほどまたご質問の時間とか作ろうと思いますので、まずはお聞きいただければなと思っています。会場の皆さまもちょっと分からないなっていう方がいらっしゃれば、手挙げていただくと、会場は別のスタッフがいますので、横に来て、今ここを説明してますよみたいなことのお話ができるので、困った方がいらっしゃれば手を挙げていただければなと思います。僕はできるだけオンラインの方を見ながら進めていこうかなと今日は思っております。では進めていきますと、まずマイクの部分ですが、画面の、パソコンでご参加の皆さんは、画面の左下のところにマイクのボタンが出ているかと思います。こちらを押していただくと音声が出るようになり、ペけのマークが入っている場合は音声が出ないようになっております。今皆さんの設定は基本的にはミュートって形で、テンが入っている状態にしているので、画面の前でしゃべっていただいても声が聞こえないようになっております。これを切り替えることでお話ができるようになったりとか発言ができるようになります。スマートフォンの方は同じように画面触っていただくと、触る時に真ん中で、下の方が見えないとあれなんですけど、左下のほうに同じようにミュートっていうボタンが出てきますので、こちらを押していただくと声が出ない、出るっていうのを変えられるようになっております。そ

の隣の、カメラのようなマークがあるところが、ここの画面ですね。カメラマーク、カメラのオン・オフを変更できるような機能になっております。基本的には、今画面こうやって見ていただくと、皆さん基本的にオフになっている状態かなというふうに思いますので、ここ、今オン押ししていただければ顔が映るっていう形になっております。よろしいでしょうか。今会場の皆さん見ていただくと、他の方の顔は見えなくて、会場の皆さんの画面と、ここのスタッフの方が映っている。それ以外はすべて顔が映らない状態になっているという形です。よろしいでしょうか。ここでコミュニケーションを取る時であったり、音声を出したりとか、映像を出したりするっていうのをコントロールいただければなと思います。続けて、画面の見え方なんですけれども、大きく2つの方法があります。1つがスピーカービューっていう形で、話している、今でいくと私が大きく映っている画面を見ていらっしゃる方は、スピーカービュー。発言者が大きく映るような設定になっております。これ自体も変更ができるようになってまして、全員が均一の大きさに映る形、ギャラリービューという言い方なんですけれども、こちらに変更ができるようになっております。画面の右上のほうにそちらを変更する機能がついておりまして、そこをクリックいただくと見え方が変わるようになっておりますので、こちらは自由に、皆さん押ししていただいて結構です。iPadの方は、画面タッチしていただくと、左のほうにギャラリーの見え方を変えるボタンがついていますので、そちらから見え方を変更することができるようになっております。ちょっと今、会場の皆さんには見えづらいんですが、今これはギャラリービューっていう形になっております。で、スピーカービューっていう形がですね、この、1人だけ、私だけが映っている形の見え方になっております。この、どちらとも選べるんですけれども、たとえば皆さんが主催者側になられた時には、全員の顔が見えたほうが話しやすかったりされるなあ、皆さんの様子を見ながら話したいなっていう方はそちらを選択いただくと全体が見えるようになります。でも、それがむしろ気になっちゃうなっていう方がいらっしゃれば、スピーカービューっていうものを使っただければなと思います。スマートフォンの方は、この右側になるんですけれども、スワイプっていう形で、スマートフォンを右左にしゅっと画面をタッチしながら、押しただくと画面の切り替えができるようになっておりますので、そちらで変更いただければなというふうに思います。で、見え方なんですけど、ギャラリービュー、パソ

コンの場合は最大 25 名まで見れるようになっておりまして、iPad の場合は 9 名、スマートフォンの場合は 4 名という形になっております。ので、できるだけ多くの方と見ながらやりたいなっていうことであればパソコンを使っただけのが一番ベストかなっていうふうに思います。」

女性 A 「スピーカービューとギャラリービュー、できないです。左上に、ここにはないんですけども。」

東氏 「ちょっと待ってくださいね。ちょっと一旦画面を共有停止しますね。今、画面が現れていらっしゃると思いますが、iPad の方は左のところにギャラリー、スピーカーに替えるみたいなボタンが出てこられてますかね。少々お待ちくださいね、ごめんなさい。できました？はい。ちょっとずつ皆さんで解決しながら進めていければなと思いますので、お付き合いいただければなと思います。じゃあちょっと続けていきますね。またご質問があれば、オンラインの方も含めてお答えしていきたいなと思っております。で、先ほどお伝えした名前の変更の部分はですね、他のご参加の方にお伝えする時にどうやってお伝えしたらいいかなっていうので、方法としては 2 つありまして、先ほどお伝えしたみたいに、ご自身のパソコンのカーソルを顔の前に持って行っていただくと、右上に青いタグが出てきますので、そちらをクリックいただいて、名前の変更を選んでいただく方法があります。iPad と iPhone のご参加の皆さんは画面タッチいただくと、iPhone の場合は下、iPad の場合は上のほうに参加者っていうボタンが出てきますので、こちらをクリックいただくとご自身の名前が変更できるようになります。パソコンの場合、もう 1 パターンありまして、基本的には Zoom の下の方にいろんなアイコンっていうような形で、人のマークとか吹き出しのマークがあるんですが、参加者っていうのをボタンを押していただくと、パソコンの右側のほうにお名前の一覧が出てくるようになっておりますので、そちらの中からご自身のお名前の部分をクリックいただくと変更ができるようになっております。なので、この辺皆さん今、触っていただきながら後ほど分からない場合はまたお聞きいただければなというふうに思っております。これが名前の変更です。次にチャットっていう機能のご説明になるんですが、チャットって何なのかっていうと、文章、テキスト、音声ではなく、文字で入力ができるような機能が Zoom にありまして、そちらを使っただくと、今私のほう、お話をしてるんですが、その場合、皆さんがしゃべることができない。その時に文字

で、今困ってますとか、もう少しその部分が分かりませんっていうことを入力いただくことができます。ありがとうございます。今、運営のほうからホソカワ（スタッフ）が書いておりますが、ご質問や感想はなんでもどうぞという形でチャットの部分が入力ができるようになっております。今日皆さん、まずはここオンラインでご参加の皆さんはよかったら一言、なんでも結構です。今日は1日疲れましても結構ですし、お昼はラーメン食べましたでもいいので、自由に入力をお試しただければなというふうに思っておりますし、何かご質問があればここにご入力いただければなと思います。テスト、ありがとうございます。よろしくお願ひしますと。こう書いていただくと、話し手のほうはここを見ながらご質問が出たなみたいなことが分かりますし、途中何かコメントしていくみたいなのところであればというふうな機能で使っていただいております。今までいくと講演会とか、お稽古とかもそうなんですけど、途中ご質問があったりする時にはここで書きこんでいただくことが多いかなと思います。画面の下の方のチャットっていうところから選んでいただくと、右側に入力ができるようになります。iPhone, iPadの方はですね、iPhoneの方は右下、iPadの方、右上のところに詳細というボタンがありますので、そこをクリックいただくとチャットを選べるようになっております。この場合もチャットの入力自体はパソコンが一番やりやすい状態になっておりまして、iPadとかiPhoneの場合は入力画面に変わってしまうので、その場合、この画面が一瞬見えなくなってしまうということが起こるようになっております。オンラインの皆さんありがとうございます。コメントをいただいております。じゃあ続けていきますが、チャットは自由にやりとりしていただけて結構です。Zoomの機能の5つ目なんですけど、レコーディングっていうものができるようになっております。これは今日のイベントもそうなんですけれども、録画しておくことによって、同じデータを今日参加できなかった方にお伝えすることができたりとか、ご紹介することができるようになります。あと自分が見返すためにも使えるようになっております。方法としては今日、皆さんにはできない状態なんですけど、画面の下の方にレコーディングっていうボタンがあります。こちらをクリックいただくと、レコーディングを2つの方法で選べるように今はなっております。1つはクラウドっていう形で、何でしょうね、オンライン上にデータを録画して置いておくパターンと、もう1つはパソコンとかiPhone, iPadに直接録画データを入れるようなパ

ターンと選べるようになります。こちらはどちらがいいのかって言われると、使ってらっしゃる機器の容量にもよるんですけども、そこにたくさんのデータを置いていても大丈夫な方は、レコーディングはローカルで保存するっていうことを選んでいただいてもいいんですけども、それが難しい方は基本的にクラウドで保存していただくことが良いかなっていうふうに思っております。ここは皆さんまた、レコーディングっていう機能がまずはあることを覚えていただきつつ、こういう場合はどっちに録画データを置いたらいいですかっていうのは後ほど、ご相談いただければなというふうに思っております。もう1つ、チャットっていうところの説明を先ほどしましたが、このテキストのところにもですね、たとえば議事録みたいな形で記録を残すこともできますし、皆さんからの感想を打ち込んでいただくようなこともできるようになっております。なので、これを残しておきたいなみたいなことも思う方もいらっしゃるので、このチャット自体も保存が、パソコン上とかにできるようになっております。方法はチャットっていうところの枠の、コメント入力をいただく右側のところにタブが出てくるようになっておりまして、ここをクリックいただくと、チャットの保存っていうのを選べるようになります。これ、Zoom 上の設定によってチャットの保存をできないようにも設定ができるので、主催者の方によって、保存できるできないっていうのは存在するんですけども、この映像自体もそうですし、チャットのテキストのデータ自体も保存ができるようになってるのが Zoom の機能としてはあります。よろしいですかね。なので、いろんな形でここで行われていること自体を保存することができるというのが Zoom を使っていく上での魅力の1つになるかなというふうに思います。6つ目がですね、画面の共有の活用という形で書かせていただいておりますが、これは何かというと今皆さんに、私が作成したスライドを見ながら説明を聞いていただいております。こういった形で、作った資料を共有することができるようになっております。資料以外にも、インターネットで開いたページであったりとか、メールであったりとか。パソコン上に映せるもの、iPad とか iPhone に映せるものはすべて共有ができるようになっております。唯一、Zoom の画面自身を共有することはできないんですけど、基本的にパソコンに入っているものはすべて紹介ができるようになっております。たとえば、このあとまたご説明の時に使いますが、インターネットで開いたサイトみたいなものでいくと、これは Zoom の管理画面なんですけ

れども、これを見ていただくようなこともできますし、開けるものは何があるかな。カレンダーみたいなのを共有したいなっていう時にはこうやって開いていただくこともできるようになっております。ので、皆さん自身が他の参加される方と一緒に共有したいなと思うものはこれを使って共有ができるようになります。共有方法は簡単で、パソコンの方は画面の下の方に緑色のボタン、画面を共有というものがございまして、これは今日も皆さんにはお使いがいただけない状態になっていると思いますが、ここを押していただくと、どの部分を共有しますかっていうのが選択できるようになっておりますので、そちらをクリックいただくと、皆さんと同じ画面を見ることができるようになっております。これを上手く使いながら進行していただいたりとか、テキストで使いたいな、何か文章とかですね、テキストを使ってらっしゃる方はここを上手く使いながら共有をしていただければなというふうに思います。よろしいでしょうか。7 つ目の機能ですね。ここまで一旦説明して、終わりたいなと思っておりますが、ブレイクアウトルームっていうものが Zoom にはあります。何かっていうと、ここはメインの会場で、今日は 50 人、今、ご参加をいただいて、会場にもいらっしゃるので 70 人ぐらいはいらっしゃるんですけども、この 50 人がやっぱり同時に話すことができないなというのが現状としてあります。なので、メインのお部屋以外のお部屋をたくさん作るっていう機能があります。講演会とかでいくと、全体会と分科会みたいなものがあったり、学校でいくと全校集会があったあと、教室でのホームルームがあるように、お部屋を作れるようになっております。この機能は主宰している人だけが作れる機能なので、ちょっと今日も皆さんに作っていただくことはできないんですが、部屋の数としては 50 個まで作れるようになっております。お部屋の 1 つの人数は最初 200 人まで到達できるようになっておりまして、これは Zoom っていうこの機能が 1000 人まで利用が一応できるようになっているので、この人数になっておりますが、基本、今日、50 人の皆さんと一緒に話していただくことができないなっていう時には、たとえば 5 人 1 組のお部屋を 10 個作ることによって、皆さん同士がちょっとお話ししていただく時間を作ったりできるようになるっていうのがこの機能になります。一方的な講演会だけだったら大丈夫なんですけど、交流会をしたいなとか、お互いの意見交換したいなみたいな時にこのブレイクアウトルームっていう機能を使っていただいて、部屋分けをしていくっていうのがこの使える機能としてござい

ます。ということで、一旦、ご説明としては、マイクのカメラのオン・オフと、見え方、スピーカービューとギャラリービューっていうものの変更。あとはお名前の変更の方法、チャットの入力の方法。レコーディング、チャットの保存の機能。あとは画面を共有して資料を伝えるっていうもの。そしてブレイクアウトルームっていう7つを一旦お伝えさせていただきました。ここまでで一旦、簡単な説明は終わらせていただくので、このあと、先ほどお伝えしたブレイクアウトルームっていう機能を使って、お部屋を分けさせていただきます。オンラインの方々はだいたい5人1組くらいのグループにこのあと分かれるようになっておりまして、リアルに今日来ていただいた皆さんはテーブルのメンバーで一応分かれた体で、お話をいただこうと思っておりますが、今日呼ばれたいお名前、本名でもニックネームでも、何か活動されていらっしゃる名前でも結構です。お名前と、普段やってらっしゃる活動。これも言える範囲でももちろん結構です。今日講座に参加された理由ですね、こういうことができるようになりたいとか、やってみたいとか。何か質問したいことがあって来ました、みたいなことの共有と、あと今の気持ち、今日1日もう終わっていくので、今日どうだったっていうお話でもいいですし、今ここまで聞いている話の中で、こんなふうに感じてるっていうことをお伝えいただいても結構です。そういった形で、ちょっとお部屋で、5人1組ずつぐらいなので、長くて10分くらいお時間取りたいなと思っておりますので、ちょっと今ここまで聞いていただいた中で感じていることをお互いに共有し合っていたりとか、こんなことができるようになるのかなみたいなお話をそれぞれしていただこうかなというふうに思っております。よろしいでしょうか。何かご質問があったらチャットにいただければなというふうに思いますが、エイキョウさんから、全画面表示にすると先生のPC画面の下の文字が見えなくなるのですがというふうに書いていただいております、方法としては、画面自体、このスライド自体が画面に見える範囲にエイキョウさんのほうで納めていただくことができるかっていうのが1つと、もう1つは画面の全体にこう共有されてしまっている部分があるので、パソコンによっては、一番左上のESCって書いてあるものを押していただくと、全画面表示されなくなるっていうものがあります。ちょっとまた個別に分らなければお伝えしたいなというふうに思いますが、ちょっと見えなかったなという方がいらっしゃれば後ほど、また質問をいただきたいなというふうに思っております。この4つの項

目を普段どうやってお伝えしているかというところ、皆さんが今見ていただいているチャットというところですね、今から話していただきたい内容はこの4つです。この4つを貼らせていただきました。5人1組で順番は誰からやるんだっていつもなってしまうので、50音順に自己紹介してください。なので今お名前を変えていただいている方もそうでない方もそうなんです、今書いてある名前の50音順に、順に自己紹介を1人1分ずつぐらいいしていただき、そのあと少し雑談をしていただければなというふうに思います。あ、エイキョウさん、なんとかなったということで、ありがとうございます。はい。ではエトウさんのほうにお願いをして、今からお部屋に分かれますのでそのメンバーでお話しいただければと思います。お願いします。

《ブレイクアウトルームでの参加者交流》

東氏 「10分15分ほど、お伝えを一応しようと思っていることが2つありまして、1つはオンラインでのイベントっていうものにどんなものがあるのかってお話を1つと、あと会場の皆さんもおっしゃっていただいていたんですが、Zoomでホスト、参加することは結構今できるんだけど、実際に自分が招待する側になった時にどうしたらいいんだっていうことを言っていたので、こちらもお話をしたいなと思います。そこをちょっとお話しするので、またお聞きいただければなというふうに思っております。ありがとうございます。で、何か随時、今のところ、ご質問であったり気になる点があった方はチャットっていうところに入力いただくか、このあとオンラインのイベントにどんなものがあるかってご説明させていただいて、あとに少し質問の時間を取ろうと思いますので、そちらでもまたお話しいただければなというふうに思っております。ではまた改めて画面を私の資料で共有をさせていただきます。見えますかね。ではですね、このあとまたご説明をしていくんですが、オンラインで企画をやったりとか、講座をやられたりとか、先ほど自己紹介をお聞きしていると色々な分野の方がいらっしゃったんですが、イベントをやりたいなと思ってらっしゃったり、何か発信したいなと思ってらっしゃる方向けにちょっとお話をするんですけども、オンラインイベントの調査みたいなのが6月までに行われたものでお伝えをすると、3月以降、この青色の部分はリアル、対面でのイベントが多かった時期なんです、これが3月以降一気に減ってきました。緑のものはオンラインだけのイベントになってますが、3月から割合

的にはかなりそちらが増えていったという形で、世の中で起こっていったのはこのオンラインでのイベントが3月以降増えていったというのがご紹介されております。オンラインイベントですね、実際に開催したことがあった人ってどのくらいかって言われると、このコロナになるまで、リアルイベントのみ主宰していたという人がこのサイトを使っている方の割合でいくと7割ぐらいだったと。なので、オンラインとかリアルでイベントをやった人ってのは20%ぐらいしかいなかったというのが現状としてあるというふうに言われておりました。なので、3月以降にどんどんと、オンラインイベントを初めてやった人たちが、今、半年ぐらい経って慣れてらっしゃる方もいらっしゃいますし、これから増えてきたからやろうかなって思っていたらっしゃる方がいるというのが現状の数字として出てきております。で、やってみた人たちがどんなことが利点としてあったのか、また参加した人もどういうところが良かったかって考えると、アンケート項目としては1つは、会場代がかからないみたいなものが大きくありました。Zoomっていう機能を使っていただくと、有料の会員でいくと2000円以上になってるんですけども、それでも今まで会場をお借りしていた場合は1時間いくらっていうのがかかっていたりしたので、それがかからなくなったっていうお話があったり、会場費とかコストのことを気にしなくなったので、手軽に開催ができるようになったみたいな声も上がっているということが言われてました。あとは今までと違う人たちが参加してくれるようになったっていうのが言われてまして、オンラインになったことでいろんなエリアから参加できるようになったりとか、自宅ですつとやっぱり居るので、何かしたいなと思う時に、今まで違ったような講座が目の前にインターネットを通じて現れてくるみたいなことで、興味をもって参加する人もいらっしゃったので、いろんな客層の人たちが参加してくれるようになったっていうのが主催の方々がおっしゃった結果っていうふうになっております。オンラインイベントについて、参加者の人たちが参加したいなと思うもの、一番は自分に興味があるものはどんどん参加していきなっていくのが言われてまして、今まで関心なかったところもこれをきっかけに参加している人が多かったです。あとは積極的に情報収集して参加したいなって思っていたらっしゃる方の割合も多くてですね、この間私たちも半年ほど、いろんな企画をやらせていただいたんですが、参加される方々は比較的積極的にご参加いただくので、すごくやりがい

あったりとか、やり取りがうまくいったりとかってということがすごく多かったなというふうに思っております。もちろんツールを使いこなすみたいなのはやっぱり難しかったりされるんですが、ただやっぱり意欲はすごくお持ちで、ぜひ使いたいなと思ったりとか、話を聞きたいと思って来ていただける方々なので、イベントをやってみること自体はすごく良かったなっていうふうに思っております。オンラインイベントに関する調査として、参加者側のほうですね。良かったなと思ったことは、一番はやっぱり気軽に、家からクリック1つで参加できるみたいなのがやっぱり魅力だったのと、今まで知らなかったジャンルのことが学べたみたいなのが良かったです。1つはあと、無料だったって、今日も皆さんそうなんですけど、オンラインでやるのでまだ不安だしっていうことであったりですね、まず最初なのでお試しでっていうことで、結構無料のイベントがこの半年間ぐらい多かった時期でした。なので、そういったところも結構魅力としてあって、オンラインの体験をする方が徐々に3月以降増えていったっていうのがあったかなというふうに思います。オンラインのイベントを主催するツールとしてどんなものが一番使われてるかって言われると、このサイト自体はZoomが一番使ってたかなというふうに言われております。あと、YouTubeって形で、映像の配信だけを行いながらですね、皆さんに情報を伝えるみたいなものではYouTubeみたいなのも使われておりますし、他にもどんどんと今、オンラインのツール自体は出て来ているので、他を使う方々も結構いらっしゃるといのが紹介されていると。これが、データで見たオンラインイベントに関する調査いうふうになっております。で、実際どんな使い方が出来るんだろうなみたいなのところで、もう皆さん自身でご参加して体験してるものもあると思いますし、お聞きになられたものもあると思いますが、これ、ストリートアカデミーという皆さんが先生になって口座を開くようなサイトがあるんですけども。そこではですね、たとえば今、人気の講座、どんなものがあるかっていうと、自宅でいらっしゃるからか分かんないんですが、作り置き講座みたいなものとか、自宅でオンライン・ヨガとかですね、先生になろうみたいなものとかが講座としては人気っていうのが全体として、総合ランキングとして出ていたりします。で、文化・教養の分野を見てみると、テーブルマナーみたいなものとか、字をうまく書けるようになったりとか。あと、テーブル茶道。で、この辺の講座が今、全部基本的にはオンラインで受けられるようなものとして準備されて、いま、

開催されてらっしゃる方がいるという形です。なので、講座っていう形のものは、比較的オンラインでですね、今、出来るようになって来てるっていうのが世の中の現状かなっていうふうに思います。もし、皆さんがそういうこと、教室をやってらっしゃるのであれば、チャレンジしていただくのはいいのかなと思っております。それ以外でもですね、どういうものがあつたのかと言われると、ちょっと違ったもので行けば、施設とかですね。京都で言うと、寺社仏閣もそうなんですが、知恩院さんがやってらっしゃったんですけれども、普段見れないエリア。これをリアルで開いてしまうと、そこに入ってもらいと困るみたいなことがあるんですが、オンラインでやる場合によってはですね、非公開エリアもこうやって映像で見せることができるので、これを機に、非公開エリア紹介するようなオンラインツアーをやられるっていう企画を考えて、実践されてらっしゃるっていう事例があつたりとかですね。こちらは、地方の応援をされてらっしゃる会社さんがやってらっしゃったんですが、地方の生産者の方の商品を手元に届けていただいて。これ、郵送で届くんだけれども、それを実際に味わったりとか、触ったりしながら、生産者の方とオンラインでやり取りをして行くようなツアーが世の中に増えて行っていたりします。先ほど冒頭でお伝えしたような文化体験みたいなものとか、伝統工芸の作品を作ったりみたいなものもですね、今、元々キットがあつて、体験、体験講座とかお持ちだったところが、それを送って、実際に時間になったら Zoom とかを使ってログインしていただき、やりとりをしながらお伝えするみたいなことをやってらっしゃったりする事例もあります。なので、この画面上のやり取りだけでも1つですし、何か物を送ってとか、映像で配信することで見てもらうみたいなものが増えて来ているので、皆さんがそれぞれやってらっしゃることに合わせて、いろんなことが考えられるようになってるかなというふうに思っております、はい。ちょっと事例として今ご紹介をさせていただいております、チャットにいくつか書いていただけて、Zoom の音質はイマイチと伺ったのはいかがでしょうかっていうのは、Zoom 自体はですね、比較的クリアに聞こえるんですが、皆さんの通信の環境によっては、うまく聞こえないとかですね、途切れてしまうみたいなものが生じているっていう現状はあるので、実は先ほど自己紹介いただいたのはですね、もちろん、皆さん同士仲良くなって欲しいとか、皆さんがなぜ参加してるんだろうな、知りたいのもあるんですが、皆さん同士の音声とですね、カメラがうまく機能してるか

どうかをチェックいただくみたいなことの役割も担えるので、私たちがよくやるイベントではですね、最初に皆さんに一言発言してもらいたいなことを前提としてやっていたりします。今日はちょっと70人ぐらいいらっしゃるのでできなかったんですけども、そういった形で音声チェックをしてから進んでいただくといいかなというふうに思います。で、もう一個書いていただいて、読み上げます。Zoom活用が向いてるイベントと、ウェブ配信が向いてるイベントなどありますかっていうことを書いていただいてまして。個人的には、Zoomは話したり、講座的なものは向いていて、ウェブ配信はコンサート系が向いてるのかなと思ってますというのをマツオカさんが書いていただいておりますが、書いていただいている通りかなというふうに思っております。向いてる向いてないっていう部分とですね、運営される方がどうされたいかによるかなというのも1つあります。今日で行くとですね、いろんなご質問が出たりとか、こんなことやりたいんだけどっていうリクエストが出て来る場合はですね、一方的な配信にしてしまうと、その声が拾えなかったりするんで、実は今回、最初にウェビナー、一方的に配信する形のもので皆さんに実はリンクをお送りいただいてたんですけども、ちょっとリクエストをして、このやり取りができるような形に今回は変えてもらっていたりします。書いていただいているように、コンサート系であったりとか、あと、講座でですね、情報をお伝えするだけにしたいなあっていう方であったりとか、あとは教材のようなものを作りたいなど。自分が話してる状態をですね、録画して、このあといろんなところで使いたいなあとという方とかは、配信のみのものでもいいんじゃないかなというふうに思っております。あとはですね。ありがとうございます。あと、子供をZoomイベント集客するには、どのようなツールが有効ですかって書いていただいておりますが、ちょっとツールの使い方と違うので、また個別で、ご相談に乗れたらなと思ってるので、オカダさん、また後ほどお待ちいただければなと思います。こういった形で、チャットに入力いただくことですね、お答えしていけるので、ちょっとリアル会場の皆さんはチャットができないんですけども、こういう活用の方法があることだけご理解いただければなと思っております。で、先に今日はですね、オンラインの配信とか、実際にZoomをですね、自分で主催者側になりたいなって方々もいらっしゃるんで、先にそっちのご説明を簡単にさせていただければなというふうに思っております。画面見ていただきながらご説明できればと

と思いますが、これは私たちまちとしごと総合研究所というところが持っているアカウントの画面になっております。サインアウトしたい（参加者によるチャットの読み上げ）。ちょっと待ってくださいね。Zoomを開いていただくそうですね、こういった画面が出て来るようになってきているかと思えます。ちょっとこれはパソコンの画面になっておまして、スマートフォンとか iPad もですね、サインインしますか。これ、ログインって言ったりとかあるんですが、メールアドレスとパスワード入れる前の画面が、こういった画面になっております。ここからまずはログインしていただかないとですね、会議を開いたりとか、先ほど言ったような主催者になるっていうのが難しいので、これを押していただくそうですね、メールアドレスとパスワードが入れれるようになっております。これはスマートフォンとかも同じなんですけど、皆さんがご登録いただいたメールアドレスとパスワード入れて、サインインっていうのをさせていただきます。まだ初めてですかみたいな方はですね、メッセージが出て来ているので、無料で登録ができるようになってきているので、こちらから登録をいただければなというふうに思えます。ここまでは大丈夫そうですか？なので、まずは登録をしていないとですね、そもそも自分で会議を開くことができないようになってきているので、まずは無料で登録をいただくところをお勧めしております。ちょっとパソコンの画面だけで恐縮なんですけど、入っていただくこういった管理画面っていうものが出て来るようになっております。ここはプロフィール画面なので、ご自身の情報が入っているところなんですけど、ミーティングを開催したい場合はですね、2つの方法があります。1つは、もう今すぐミーティングをやりたいなっていう場合はですね、ミーティングを開催するっていうボタンがありますので、そちらに矢印持って行っていただくと、ビデオをオンにした状態で始めるか、オフにした状態で始めるっていうことができるようになっております。今日はですね、ちょっとこのアカウントで別の会議をやっているものがあるので、ここで押すことができないんですが、これを押していただくと会議が始まるっというシンプルなものになっております。もう1つが、事前に来週月曜日の7時からやりたいんだみたいなことがある方はですね、このミーティングをスケジュールするっていうボタンがありますので、そちらをクリックするとスケジュール、いつやるのっていうのを設定できるようになっております。ここは当日また見ていただければと思いますが、トピックっていうのは会議のお名前ですね。何々会議っていう

のを書いていただく部分と、あとは、ご説明としては、この会議が何なのかっていうのを入力いただいても OK です。で、開催日時っていうのがここで選べるようになっていきますので、来週月曜日だとすると、ここにカレンダーが出て来るので。会場、見えますかね？はい、ここにカレンダーが出て来るので、たとえば来週月曜日、23 日やりたいんだってことであれば、これをクリックいただくと日時が変更になります。で、あと、時間が 12 時間表記になっているんですけども。0 時から 12 時ですね、はい。午後の 7 時からっていうことであれば、7 時を選んでいただいて、こっちに午前午後が選択できるようになっておりますので、こちらをクリックいただければと思います。最悪、この日時は変更して開始することももちろんできるので、一旦仮のスケジュールとして案内するときに何時っていうのをに入れていただくようになっております。所要時間が何時間ぐらいかなあっていうのをここで設定ができるようになってまして、Zoom は 24 時間まで開催ができるので、24 時間イベントまではできるという感じになっております。それを選んでいただくと、2 時間で選んでいただくと、もうこれで基本的には日時の設定ができておりますので、このまま下に進んでもらえればなっていうふうに思います。よく言われているセキュリティというところを選べるようになっておりまして、1 つはパスコードという形で、今日皆さんがご参加いただくときもそうだったんですが、会議室のナンバーと、それと鍵のようなものですね。パスコードの設定ができるようになっておりますので。こちら、勝手に作ってくれる状態なので、ここをクリックしたまま進んでもらえればなというふうに思います。もう 1 つ、待機室っていうのがあって、今日皆さんにもご参加いただくときにはですね、お名前を一応確認をしていただいております。それをやるために、一度違う部屋に入ってください、今日はじゃあ、ナカタさんが今から参加しますとか表示されて、許可して入ってもらうということをやりたい場合は、この待機室にチェックを付けておいていただくと、名前の参加者リストを見ながらですね、入室いただくっていうのをサポートできるようになっております。もちろん、外すことも出来るので、もう基本的には入って来る人全員 OK だっていう場合は、外していただいても構いません。あとはビデオ。ビデオって書いてあるのは、この画面が映るか映らないか。最初をどちらの設定で入るかっていうのを選択できるようになっているので、皆さん、顔が映らないほうがいいなっていう場合はオフにしてください、映ってもいいかなあ

ていうときにはオンにしてもらっていただければいいかなというふうに思います。もちろん、入ったあとに皆さん自身でカメラオフにすることができるので、そちらは使っていただければと思います。音声なんですけど、今日もですね、インターネットを経由して音声を出すっていうのを選んでいただいているんですが、選択制をなくしたいなっていうときには、コンピューター音声っていうものを選んでいただくと、皆さんがネット回線を通じて Zoom に入っていただくことができるようになっております。電話にしてしまうとアメリカ合衆国のダイヤル元で発信をされるので、やったことないんですけど、すごいお金が掛かると。やったことないので、やりたい方はやっていただければと思いますが、コンピューター音声を選んでいただくと、他の方々が安心して参加しやすくなるというふうに思っているんで、今は必ず私のほうではチェックしております。ここまで行くと、基本、もう開催ができるようになっておりまして、一番下の保存の前にですね、ミーティングオプションで書いてあるものは、オプションなので、追加で何か指定しておきたいなっていうことがある方は、ここのチェックを付けてもらえたらなっていうふうに思います。最後、一番下の保存とボタンを押していただくと、読み込みが始まりまして、実際に皆さんをご招待するため URL、リンクって言われるものですね、クリックして欲しいページが出て来るようになっております。マイミーティングって、自分のミーティングができましたということで、11月23日の7時から開催ですと。で、ミーティングの ID はこれですっていうことと、パスワードがこれですっていうのが作成されました。じゃあ、これをどうやってご招待。皆さんにお送りしたらいいのかでいくと、招待リンクっていうのが出て来ますので、こちらをお送りいただければと思うんですが。一番右側にですね、招待状のコピーっていうのが出て来るようになっております。ここを押していただくと、ミーティングの招待状を勝手に作ってくれるようになっておりますので、ここを使ってですね、私の場合は、これを、基本、コピーをします。コピー出て来たほうがいいですね。このコピーっていうものを押していただいたら、これをたとえばメールであったりとかメーリングリストとか、あとは SNS でいくと、メッセージみたいなものをうまく使って、参加される方にこのリンクをお送りいただくと、参加者はここからクリックをして参加いただけるって形になっております、なので、皆さんに今日届いたものは、ここの、特にここの部分ですかね。ミーティングに参加するっていうものと、あとは

ID とパスワードから入って来られる方向けにこれをお送りいただくという形になっております、はい。一旦閉じますね。ここが常に作られていたら、ここからご案内ができるんですけど、これがじゃあ、どこにあるのかって言われると、Zoom の管理画面のミーティングっていうところを押していただくんですけど、いろんなスケジュールを立てることができるので、ここに表示。今まで立てたミーティングがですね、表示されていくって形になっております。この勉強会が行われているうちの会社なんですけども、はい、明日はこんなミーティングがありますよとかいうのがですね、全部セットされております。なので、ここのリンクを送りたいなあというときにはですね、このマイミーティングというのをクリックいただくと、先ほどの招待状のコピーっていうのが出て来るページになっておりますので、そこをクリックいただいて、これを送っていただくっていう方法になっております。当日はですね、このミーティングを開始っていう青いボタンが出て来ますので、ここから入っていただくと実際にミーティング、今、皆さんが入っていただいている Zoom みたいな形の画面を開くことができるようになりますというのが一旦の流れになりますので、こちらをご覧いただいたらよいかと思います。また、個別でやりたいなあっていうことであつたりとか、あとは、実際には明日やろうと思うんだけど、ちょっと分からないっていうことであれば、またご連絡とか、ご相談いただければ、この作り方ぐらいであれば全然お伝えをするので、またご相談いただければなというふうに思っております。というのが一旦、主催者になっていただく方のご案内になります。最後、ちょっと駆け足になるんですけども、オンライン配信みたいなものですね。先ほどチャットでご質問をいただいていたものもありますが、オンライン配信だけをやりたいなあみたいな方がいらっしゃればですね、こちら、ご案内をしたいなと思っておりますが。配信のメリットみたいなもので行くと、さっき言ったように、一方的に基本的には伝達出来るものになっております。なので、1 つは、今日こういつて参加いただかない時間にでもですね、見てもらえるみたいなものであつたり、毎回同じ話をするものであれば、一回撮ってしまって、映像をお伝え、お送りしたりするほうがよかつたりとか。大人数のときには、一人一人しゃべれないので、まずはこれを見てくださいみたいなものを送りたいとき。または、伝えたいときにやっていただける機能があります。今使っている Zoom っていうものを使っていると、Facebook とか YouTube って言われるものでライブ

配信というのは、こうリアルタイムに配信する機能なんですけれども、それが簡単に設定ができるようになっております。で、またこの設定方法については、1 つ Facebook とか YouTube のアカウントを持ってないとできないのが現状なんですけれども、Zoom の設定の中からライブストリーミング配信を許可するっていうところをチェックしていただくことができるようになります。ただ、ここだけを押せばあとは自動的にここをクリックして行っていただく配信ができるようになるっていう簡単なシステムなんですけれども、もう一回だけ戻りますね。Zoom の管理画面に戻ると設定っていうものがあります。ここをクリックいただくと、皆さんのアカウント、個別の機能をいろいろと設定ができるようになっております。上から順に見て行くと、結構いろんな細かな設定がですね、できるようになっておりまして、これは皆さんのお好みに合わせて変えて行っていただくっていうのがベースとしてあるんですけれども。この Zoom でライブ配信、ライブストリーミング配信をしたい場合はですね、ミーティングの詳細というところ。ここです、ここですねっていうのを押しますね。この基本と詳細があるんですが、詳細を押していただくと、詳細一覧のところへ移動して少し下に行っていただくと、ミーティングのライブストリーム配信を許可するっていうのが出て来ますので、これがチェックがないと、この機能が使えないようになっております。チェックを入れるっていうのは、青色になる部分なんですけど、チェックいただくと、これが開始出来るようになるっていうのが機能としてあります。ちょっと配信したいなあみたいの方がいらっしゃれば、またご相談いただければと思いますが、そういう機能が今、Zoom にはあるっていうことを覚えておいていただければなというふうに思います。画面を変えまっすね。あとは、Zoom 自体で録画ができるっていうのを最初お伝えしました。レコーディングができるっていうことをお伝えしたので、生のライブ配信ではなくて、録画したものをあとで参加されたい方に送ったりとかですね、お申し込みいただいた方に送るみたいなことも出来るようになっておりますので、Zoom でそのまま配信するっていう方法もあれば、一度録画をしてですね、そのデータをお送りしたりとか、YouTube に上げたりするっていうことが出来るようになります。そういう形で、このやり取りが出来る形以外も方法としてはあるので、皆さんのご要望とか、リクエストに応じて進めて行っていただければよいかなというふうに思います。一旦ご説明の部分はここで終えつつですね、このあと、先ほどみたいに、皆さんか

らのご質問をいただいたりとか、皆さん同士でちょっと話していただいているところに、個別にちょっとずつお伺いをして、個別のお名前、お悩みを聞いて行きながらお答えして行くって形で残りの時間を過ごして行きたいなあっていうふうに思っておりますが、改めてですね、一旦先にお伝えをすると、コロナだからできなくなったことっていうのはすごくあるなあというふうに思っております、それによって、すごい大変な思いをされた方々も多くいらっしゃるんですけど、一方で、この今だからこそ皆さんが、皆さんができることっていうものも生まれて来てるんじゃないかなっていうふうに思います。近くじゃないと行けなかったものが、遠いところからでも参加できるようになったりとかですね、皆さん自身が届けたいなって思っていた人に、より届きやすい環境もどこかではできてるんじゃないかっていうふうに思っておりますので、是非ですね、皆さん一人一人がいろんな体験作りみたいなこととか、情報発信をしていただくことで、より良くなって行くのであれば、いろいろチャレンジしていただければと思っておりますし、皆さんが、こんなことやりたいんだっていうことを言っていただければですね、私たちの方でもなんかサポートできるところはやって行きたいなあて思いながら、この半年間もやって来させていただいたので、またご相談があれば、個別いただいても結構ですし、このあと、まだ40分ぐらい時間はあるので、そこでいろいろと解決して行ければなあというふうに思っております。またブレイクアウトルームっていう形で、お部屋にちょっと戻っていただきながら、悩みが解決した部分はそれでOKなんですけど、改めて、ちょっと分からなくなった点であったりとかですね、相談したいなあという点がある方がいらっしゃれば、お部屋を、さっきちょっと顔を出したみたいに回って行こうと思っておりますので、そこでご相談をいただければなというふうに思っております。ではですね、またちょっとお部屋に戻っていただいて。少し感想を述べながら、分からない点等についてはお話をいただこうかなというふうに思っております。あつ、いい、アーさんからですね、あつ、Aさんからご質問いただいて、ちょっとここはお答えしようかなと思います、相互のコミュニケーションを取るリアルさをオンラインイベントで演出するには、どうするのがいいでしょうかというのを書いていただいております。ありがとうございます。今ですね、今日のイベントに関しては、この相互のコミュニケーションがすごく少ない状態でした。なので、私が話していることが伝わってるかなあというのが分から

ないので、それを演出するにはまずは少人数でやることはすごい大事だなあっていうふうに思っております。ただ、ニーズがあって多くの方に来ていただけるので、先ほどのブレイクアウトルームっていう小さな小部屋を作ってですね、そこでやり取りをして行く時間をより増やすことで、相互のコミュニケーションは取れるんじゃないかなというふうに思っております。子供のイベントのお話は、マツオカさんとオカダさんのところにお邪魔して何かお話できたらなと思っております。先ほどですね、分けたときに、画面の真ん中にブレイクアウトルームに参加するっていうものが出て来ていらっしやっただかと思えますんで、そちらをちょっと押せなかった方はですね、もしかしたら入れなかった方かも知れませんが、是非入れる方はですね、その青いボタンを、画面に出て来る青いボタンを押していただくと、お部屋にご招待されるようになっておりますので、よろしければご参加いただければなというふうに思います。では、また個別のお部屋にちょっと分かれて、20分ぐらい時間を取るの、個別ご相談に乗って行きたいなというふうに思います。では、お願いします。

《ブレイクアウトルームでの参加者交流》

東氏 「オンラインの皆様、ありがとうございます。各お部屋をちょこっとずつ回らせていただきました。で、お答えできた部分もあるかなと思えますが、全体を通じてですね、ちょっとまだ聞きそびれてることがあるなって方は残っていただいてもいいですし、このあとご質問いただければなというふうに思っております。で、東 iPad のところで見えていただいているように、オンラインじゃない会場ははまだ議論が続いておりますので、一旦締めに入らせていただきつつ、後ほどご質問が。ありますかね。ある方がいらっしやる。キノさんからコメントをいただき始めてるんで、もしあれば、そのまま書いていただければなというふうに思います。まだいらっしやいましたね。全体にこれだけいらっしやったんですね。すいません。先に話し始めておりましたが、全員戻って来ていただいた形なので、このあとですね。はい、このあと、もう時間になって来るので、最後、終わりの挨拶に向かいたいなと思っているのが1つと。あっ、大丈夫。ルーム8の方、盛り上がってて良かったなと思っております。で、会場は東 iPad でご覧の通りに、まだ話し合っていたので、ちょっとオンラインの方に今向けて話しておりますが、画面の共有をさせていただいてですね。スマートフォン等で撮れる方はですね、オンライン講座のご相談

とかご質問とかあれば、このメールアドレスにお送りいただければですね、年内ぐらいにはちゃんとお答えして行きたいなと思います。この講座自体もまだ残り 3 回あるので、来ていただきながら解決出来ることもあるだろうなと思いますが、何かお急ぎのお困りごとがあれば、今日答えられてない部分はお伝えして行きたいなというふうに思っておりますので、あと 3 秒で閉じますが、必要であれば撮っていただければなと思います。で、一旦終わりの挨拶で進めさせていただいてですね、帰られる方はお帰りいただきつつ、ご質問とかある方は残っていただいても結構ですし、さっきのメールでいただいても結構です。じゃあ、一旦事務局さんのほうにお渡しをするので、皆さん、2 時間お付き合いをいただきまして、本当にありがとうございました。またこれからいろんなチャレンジをご一緒にできればなと思っております。ありがとうございました。